

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年11月22日 (2018.11.22)

【公開番号】特開2018-117850(P2018-117850A)
 【公開日】平成30年8月2日 (2018.8.2)
 【年通号数】公開・登録公報2018-029
 【出願番号】特願2017-11153(P2017-11153)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立に基づいてゲームを実行可能な遊技機において、
演出部材を駆動する駆動源と、
前記駆動源の駆動力を前記演出部材に伝達する複数の駆動力伝達部材と、を備え、
前記駆動源が第 1 駆動態様から第 2 駆動態様へ移行すると前記複数の駆動力伝達部材か
ら発生する振動が第 1 態様となり、
前記駆動源が前記第 2 駆動態様から第 3 駆動態様へ移行すると前記複数の駆動力伝達部
材から発生する振動が前記第 1 態様から第 2 態様となり、
前記ゲームの進行に合わせて前記複数の駆動力伝達部材から発生する振動を前記第 1 態
様と、前記第 2 態様とに変更可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

演出音を出力可能な音出力手段を備え、
前記振動が前記第 1 態様から前記第 2 態様に変更されることに対応して前記演出音の音
量を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

そして、このような遊技機として、液晶表示装置、可動役物及び発光装置といった複数の
演出装置によって様々な演出を実行可能な遊技機が提供されている（例えば、特許文献
1 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

しかしながら、上記の遊技機では、遊技者の視覚を通じた演出に重点が置かれており、他の感覚器官を通じた演出が相対的に低下することから、遊技の興趣の向上は限定的なものとなる。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 6 】

そこで、本発明は、遊技者の視覚を通じた演出以外の演出方法を提供することで遊技の興趣を高めることを目的とする。

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

本発明の代表的な一形態では、所定の始動条件の成立に基づいてゲームを実行可能な遊技機において、演出部材を駆動する駆動源と、前記駆動源の駆動力を前記演出部材に伝達する複数の駆動力伝達部材と、を備え、前記駆動源が第1駆動態様から第2駆動態様へ移行すると前記複数の駆動力伝達部材から発生する振動が第1態様となり、前記駆動源が前記第2駆動態様から第3駆動態様へ移行すると前記複数の駆動力伝達部材から発生する振動が前記第1態様から第2態様となり、前記ゲームの進行に合わせて前記複数の駆動力伝達部材から発生する振動を前記第1態様と、前記第2態様とに変更可能であることを特徴とする。